

集團疎開日記帳 (三十二)

二部五年
乙葉裕子



斜書
五

咄
品

目

駐

九月七日 木曜日
一時間目のお裁縫はお洗濯
をした。今日は下着一枚。

受業が終ってから、お八つ
をいただいた。今日のお八つ
は、びわの冷とう。まだ、
ほりがたくさんついてゐるの
で、つめたくて、歯がしみるほど
した。少ししてから、

「おさんぼするもの」ここへ集

合

と岩丸先生がおっしゃったので
いそいで飛んでいった。二れつに
並んでいった。二部五年は

たった。途中から、林の中へ
 入った。すんだかへびのでさうな所だ
 った。すると前の方がとま
 ったので、どうしたのかと思っ
 たら
 岩丸先生とはぐれたと
 いてさわいでみた。する
 と、岩丸先生の歌ごえが
 さこえた。ふと後の方を見
 ると、岩丸先生がいらっしゃる
 所からひろい所へ出た。
 するとそこに曲長家があつた。
 どこへ来たかと思つてまが
 ともと来た道へ来た。歸り



九月八日 金曜日

今日は八日。大ぜうほうた
い日。雨が降ってゐたので、あ
へやの中でお式をした。一時間
目は、三年生の、つぎものを
した。二時間め三時間めは
ところをこめた、お女もん
文を書いた。五時間めは
第一班だけお風呂たきを
した。お風呂たきが終
てから、『お話と歌の會
があった。始めは管村先
生のお話。りっぱな人の
お話でした。次は教生の

先生め歌。これからの日本少
年少女の行く道。お歌。た
いへんよい歌だった。最後
に、岩丸先生のおもしろい
あもしろい氷戸黄門の
お話だった。その後であ
風呂に入った。とてもよ
い氣持だった。
今日もお八つがあった。
今日のお八つは、少しほ豆だ
た。とてもおいしい。あさ
とうのついたあまいお

豆もあった。

歸りも、まだ雨がし

ととと降ってゐた。

田中さんの家で日記を

かいた。



九月九日 土曜日

三時間目の理科の時間に

学校のえだ豆が、一本に

いくつなつてゐるかをか

ぞへた。一番大いのが一本

に、百九十九なつてゐた。

それにはびびびっくりした。

一番すくなひのが三つだっ

た。午後は竹運び。私

と大島さんと堺井さん

はすしおそく行ったので

まきを運んだ。今日の
お八っは、えだ豆。今日
のえだ豆はたいへんやはら
かくておいしかった。急
に、ざあーざあーと
雨が降って来た。
ぴかぴか。ごろく
かみなりの音。三、四年
生は、かみなりの音に
きゃーきゃーさわいで
みた。電気は、ついた
りきたりしてみた。

田中さんのお家へ歸ると
てい電で、真ぐらだった。
あ部先生がろうそくを
つけて下さった。先生のお
つくゑの上を見ると、お
葉書がたくさん来てみた。
あべ先生がみんなにわたし
て下さった。私は四枚来た。
あ部先生は、
「そんなたくさんもらっ
てはいけない。」
とおっしゃった。ぱつと電

気がついた。まぶしくて
たまらない。今日は早く
寢床をしいた。床に入って
すししのあいだお話しをし
て寝た。

本新報北

乙未
つる
つる



ウレシイ

九月十日、日曜日

今日は楽しい面會日。うれ
しいので、おさう稼を一生
けんめいやったら、あ部先
生が、この生活は日本一
だ。といってほめて下さっ
た。お母様は十時ごろに、
いらっしゃった。私はとびつ
くやうに、お母様のなとこ
ろへかけ寄った。お母様は
たくさん荷物をもっていら
しゃった。田島さんのお母様

がもつていらつしゃった長い
 ござにすわりました。お母
 様といちらの生活や、お家
 の様子を話しあひました。
 今日のおへっは、なしたっ
 た。こちらへ来てから始め
 このくだもの。とてもおい
 しかった。三時から紙し
 はねを見た。前田先生の
 母のつばき。四年生の戦
 少口氏。ひろ田先生
 のくまゆかまる。



どれもされも。おもしろい。
 おもしろい。

九月十一日 月曜日

二時間の体操の時間は、床材のセメントを、石で、こつこつとたたいて、落した。あちこちで、かちくこつこつといふ音がしてまるで石屋さん^のやうににぎやかでした。

三時間目は、日記を書いた。二三日たまってしまった。四時間目からお風呂たき、つぎつぎとかうたいして、やった。

今日のお八つは、いろいろのしゅるいのお菓子だった。とてもおいしい。そのあとで、お風呂に入った。私たちで、わがしたお風呂なので、とくべつ気持がよい。今日はお薬は入ってゐなかった。田中さんへ歸る時は、雨の降りさうなまっくろなくもが、あちこちにちつてゐた。あすは雨かと、そればかりが、^に氣になる。

九月十二日 火曜日

朝、目がさめると、雨が
しとしとと降っておた。

やっぱり雨だ。

つまらないな。出発する時

傘の柄がばらばらに

なっておたので田中さん

のお家の物をかりた。

三時間めが終わると、

集合があった。なにか

と思ふと、石田先生が

お歸りになったといふ

事だった。これから

またいっしょにお勉強をす

る事になった。一生けんめいやら

う。今日のおへっは、大豆

だった。とてもおいしい

おいしい。

石田先生



九月十三日水曜日

午後はむさし野りやうよう
所へ体重をはかりに行つ
た。私は一Kへつておた。
ふえた人は、山本さんと須
田さんだけだった。

終つてから、
まき運びをした。

今日のおへつはえだ豆
だった。とてもおいしい
おいしい。夜はおかず
がついた。おかずはいかの
にたのだった。おいしい
おいしい。

歸りはいつもよりほがら
かに、話しあひながら歸
た。
目方は今へるがふつうです
一月もたると太りますよ。



九月十四日 木曜日

今朝は雨が降ってゐたが、すぐやんでしまった。

二時間目の体操の時間は、えんだ豆を取った。

「これは、お八っにするのだぞ。」

と先生があっしやった。

三時間めも四時間

目も算数だった。今

日は分教をならった。

五時間目からお風呂

たきをした。

今日のお八っは、先生のおこた通り、えんだ豆だった。とてもおいしいおいしい。

せつかく多量にわかしたお風呂は、とうとう中止になつてしまった。

九月十五日 金曜日

今日は、音もしない雨が

静かに降ってゐた。この

ころは雨ばかりでつまら

ないな。

一時間目のお裁縫は

ただし、穴のつぎ方をなぞ
らった。私はかぎぎきの
つぎ方をあけいこした。
午後から、~~補給~~給しゃうへ
~~草むしり~~草むしりに行った。
みんなとても元気で、どん
どんすんでしまった。し事
をしてゐないと先生に、
「し事をしておないものここ
に集れ。」
といはれてしまふ。これに
はみな困って、はたらくき
はじめる。草を敵米英

だと思つてやつたので、もう
もうと生えてゐた草も、き
れいにぬかれてしまつた。
終りにちかくなると先生
が「最後の一本をぬいたもの
がーばん勝ちだ。」
とおっしゃった。みなきやう
さやのやうに、一生けんめい
取った。歸りには、ま
きを持って歸った。二部五
六年はくわをもつてゐるの
でまき、はもたなかつた。

今日のおハッは、みかんの
形をしたあめミツだった。

あさたうがやいててとて
もあまかった。それから
お食事まで、石田先

生のお話を聞いた。おも
しろいおもしろいお話だった。

歸りは雨が降ってみたので

保坂さんの^{かき}を
く^マの^イ十五枚も雨だった。
せか



九月十六日 土曜日

郊外園行く途中に、かいこを
かってゐる農家があった。と
もたくさんうちゃうちゃ
みた。

午後一時からお目第二回

お話と歌の會があった。

司會者は~~あ~~かた山先生だっ

た。とてもこっけいな司會

者だった。一ばん始めは石

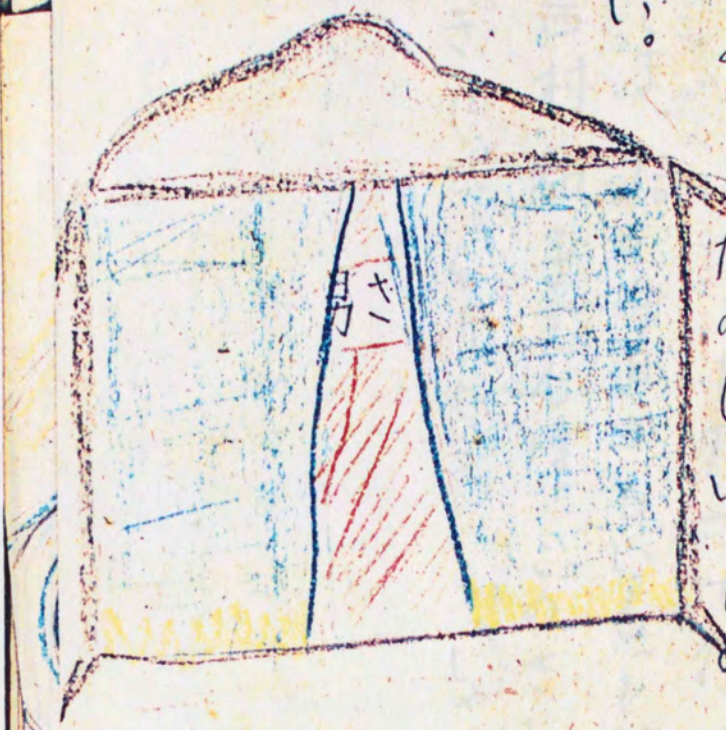
田先生のお話し。ざっしにも

しんぶんにもでていない

ほんたうかに聞いたお話。

とても長い長いお話だった。次は紙しばい「正男」の夢だった。弘田先生のつぎ教生の先生の歌。そのつぎが阿部先生のしぎんだった。

とてもたのしいたのしい。



九月十七日

日曜日

今日は、六年生と四年生の面會日だ。私^{たち}はあと一週間のがまんだ。朝後飯のあとであたまの毛を洗った。朝會のあとすぐお風呂をたいた。十時半ごろから雨の降りだした。お母様方は、みる松林の方から、大きな荷物をかかへて出てゐらっしゃった。今日は朝からとて屋さんが来て、みんなのあたまの毛をかってみた。私もかっていた。さっは

りして、とてもきもち
よくなった。それからお
風呂に入った。お風呂から出
やうとすると、もうおひる
御飯だ。六年生は、せうの
くの面會時間がつぶれると
行つてがやがやきなう
さつとさきにたべて行つて
しました。今日からいらした
西村和子さんは、このさめ
ぎにひっくりしていらした

九月十八日月曜日
今日は、一二年が来る日だ。
私たちは、朝から作業をし
た。二部五六年は、えだ豆取り
をした。今日は、一二年にも
ごちさうするさうだ。
午後は、小平町の補給所へ
草取りに行った。今日は高等
科もいっしょだった。歸りは、
又、おみやげに、まきをいただ
いて歸った。
今日のおへっは、えだ豆だ。
とてもおいしい、おいしい。

九月十九日

今日で、教生の先生とも

おわかれだ。午前中の授業

は教生の先生だった。いっしょ

うけんめいやった。

晝休みの時、とつぜんけい

戒けいほう發令になった。

二部五六年は、急いで、田中

さんへ行って、~~防空~~防空

ふくさうをととのへて、又

廢郊外園へもどって来た。

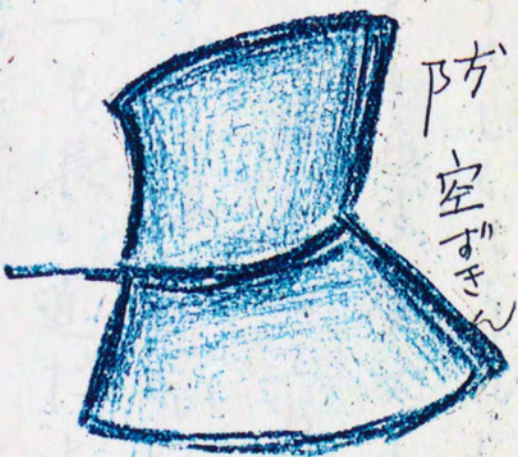
すぐかいじよになった。

今日は六時半から、

燈火かんせいがあるので、

早くねた。

防空ずきん



九月二十日 水曜日

午後から、又補給所へ草

取りに行った。

今朝お八つは、コー~~茶~~茶だった。

た。ひさしぶりなので、とてもあまく感じた。

九月二十一日 木曜日

今日は朝から補給所へ

草取りに行った。午後

はたたみのしきかへを

やった。こんどは、とても

ひろくなったやうな感じが

した。今日はとても一つ

二れたので早くねた。

九月二十二日 金曜日

今日は待ちに待った行軍。

朝五時起床。みな眼ぬ

すむくても、

お江戸見物ぶつが出来る

と云って元氣で飛び起きた。

朝食の時は、寒くてもおはしも

上手につかへなかつた。いよいよ出

発。うれしくてうれしくて、

しるすしるす笑えて来る。

みんなと話し合っているうち

に、すぐ小平についてしまっ

た。いつも長い道だと思ってい

たのに、今日はとてもみじか

いやうに思った。

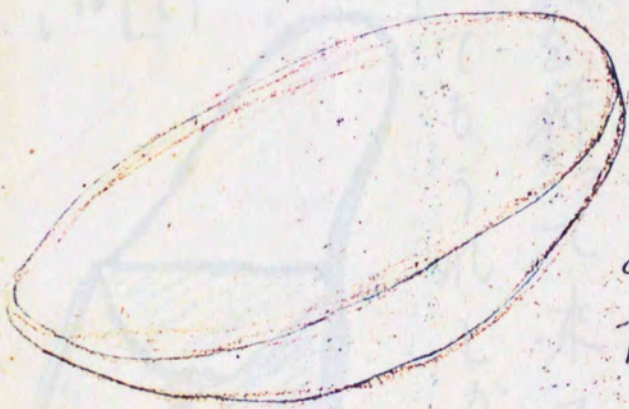
西武電車に乗るのがとても

うれしかった。電車の中では、外

のけしきばかりを見てみた。

なつかしい沼袋の駅も通り
すぎて、いよいよ行軍。
やっぱり東京はにぎやかだ。
いせたんの所は、もう電車
や自動車がたくさんはしって
おてあぶなくてたまらな
かった。そんな所をいくど
か通ってやっと明治神宮
へついた。米英撃めつ必勝
祈願願をすまし休けい所
でお晝のおべんたうをいた
だいた。みんな同じおべんた
う。とてもおいしくいただい
た。おべんたうのあとで、

二年へのはい給のパンを、一
つづつわけて下さった。おいし
いパン。とてもあなか
ふくれた。^{代々木から}
歸りは、電車に乗って歸った。
西武電車の中ではみなうとう
ととねむってゐた。



九月二十三日 土曜日

今日は秋秀皇靈祭

だ。朝會の時は、その事につ

いて、前田先生と弘田先生

のお話があった。

午後からお話し會があつ

た。岩丸先生のおへその

お話しはとてもおもしろ

かった。

今日のおへつは、お祝ひ

のごちさう。あまいあま

い小豆だった。

九月二十四日 日曜日

今日は楽しい面會日。

十時半ごろ、弟をつれてお母

様がいらった。仲よしの

弟が来たのでとてもうれし

かった。楽しく弟と遊んだ。

今日は、かたからさげるかは

いお金を持ってきて下さった。

私にとってもうれしかった。



九月二十五日 月曜日
今日は、朝から作業。

今日の作業は移てん作業
私たちは今日から村野
さんだ。一部六年も、
三部六年もいっしょだ。
午後もせいとんをした、
こんどはにながゐるので
いるものだけ出してあ
いた。

九月二十六日 火曜日
今日は、三時間目に早書を
いただいて補給しようへ草は
取りに行った。今日は高
料もいっしょに行った。
歸りに、まきをもってか
へる時雨がザーザー降
て来た。すると、岩丸
先生や弘田先生が
をもつておむかへに
来て下さった。

九月二十七日 水曜日

今日はとてもよい秋晴れた。

朝はともぎれいな富士山が

出てゐた。トシボもスイスイ

ときもちよく飛んでゐた。

午後から補給しようへ草

取りに行った。三橋さんは一

人で、

この米英め。くびをしめてしまへ。

この米英ごうきいばりだな。

などと一人ごとばかりいてゐ

た。

九月二十八日 木曜日

一時間めのお裁縫の時間

にお洗濯をした。

今日のお昼の御飯は、

かんぴやうとしいたけのま

ぜ御飯だった。こちらへ來

てからの御飯では一番あ

いしい御飯だった。

午後は又補給しようへ行っ

て草取りをした。

九月二十九日 金曜日

今日は朝から補給しよう
へ、~~狩~~草取りに行った。
午後は、~~喜~~門先生につ
れられて、栗拾ひに行っ
た。堀井さんの大きな
袋とざると、~~し~~小刀と
竹ざほを持って出かけた。
林の中をあちこちある
きまはいて栗を取りまし
た。平な道へ行くとみん
なでいがの中から栗を

出して大きな袋に入れた。
この袋は私がもつやくめだっ
た。~~喜~~門先生は木にのぼっ
たり、木をゆすぶったりし
て栗を落して下さった。
それをみんな手でひろってざる
に入れる。おもしろくて
おもしろくてたまうなかった。
歸りは全部でいくつとれた
かがぞへたら三百五十粒
あった。とてもうれし
かった。なんか所い、のふあうらね。

九月三十日 土曜日

今日は時間めも二時間も自由だったので松本先生とおわかれ会きのれんしゅうをした。

三時から送別会があった。

小菅先生三味た

先生前田先生松本先

生のおわかれの会だ。

式がすんでから御ちやう

が出た。始めはくづも

ちハつづつえだまめ

がどう五つが出た。

みんないっしょに「いただき」

まーす」といっていただ

いた。今日はさん^{リョウ}組の先

生も、校長先生(とう谷先生)も

いうしやう。そのつぎのこ

ちさう。しい竹の御飯になつ

葉のおみよつけにかつをのお

かずだった。今日はとてもお

ながか^{ふくれ}す^た。そのあとで

宮地先生のしぎんや歌の会があ

た。最後に愛國皇進曲をみ

んな元氣に歌って會は終った。

十月一日 日曜日

もう十月になってしまった。
月日がつのが夢のやう
に早い。今日は四年生
と六年生の面會だ。
せつかくの面會日は雨だ。
私たち三年と五年は
学校で休けいした。
私は日記やはがきをか
いた。お晝のお食後に
かきをいただいた。とて
もあまかった。

午後はお手玉をしてあそ
んだ。松本先生とおわかれ
をした。面會が多終つてからが
しばいがあった。弘田先生
が「アカイマリ」というの
をして下さった。破い
けんをかた山先生がやつ
て下さった。どれもこれ
もおもしろいおもしろい。

十月二日月

朝御飯をいただいでゐる

と雨が降りだして降つて来た
たのでおへやへ入つた。

お晝の御飯はくづろの

あぢつけ御飯だった。とて

もおいしかった。

五時間目から、お風呂

たきをした。みんなで

リレー式に水を運んだ。

とてもたのしくお風呂た

きをした。その後あとで

新しい先生のしんにん式が

あった。小菅先生のかはりにい

らっしゃった福田先生。これかこ

またいっしやうけんめいに勉強

しよう。今日はお月見だ。

先生のお机の上にはすすき

がささつてゐた。お食後には

くりとなしが出た。とてもお

いしいおいてい歸りには大

きな大きなお月様ほっかりと

空に浮んでゐた。このお月様

をお家にいらっしゃるお母様

お父様も見えていらっしゃること

だらう。

十月三日 火曜日

二時間めの音楽の時間は新
しくいろいろした先生にあしへ
ていただいた。
午後は作業。七号地のた
かやしをした。ひさしぶりに
くわをつかったのでも、し
がいたかった。そのあとで
堺井さんとはとりぎや
のおさうじをした。
夕飯の前に、あたま
を洗った。ひさしぶりに
洗ったのでとても気持ち
がよくなった。

村野さんへ歸ってから、弘田
先生がげんたうをして下さ
た。「鳴く虫のがっき」と「海軍
とお月様のお話」と三つたつ
た。とてもおもしろかった。
今日は明日行軍なので早
くねた。

キレイニ

ナッダ

アタマ



十月四日 水曜日。
今日は行軍だ。目がさめ
た時は雨だった。行軍は
中止だ。れんかうとをきいて
かさをさして、雨の中をあ
るいて郊外園に行った。
お勉強はお部屋でやった。
お部屋の中へこしかけをも
て行って、こしかけをつくら
にした。五時間目は國語
だ。こんどは授持の先生
が喜門先生なので、いま
で松本先生だった時間は全

喜門先生だ。松本先生
の時とあんなじきもちで、
またいっしょうけんめい勉強
しよう。
五時間目から、お話と歌の
會があった。司會者は八杓
先生だ。一番は、岩丸
先生のすけさんかくさんと
いふお話。とてもおもしろ
かった。二番は、喜門先
生の紙芝居だった。だいは
忠臣ぐらだった。おもしろ

かった。三番めは、石田長先生の少年歌よう曲だった。汽車の走りかたやのんきな父さんの歌。おもしろいおもしろい。四番めは弘田先生の紙芝居の兵隊。とても感ばなおもしろい紙芝居だった。最後に、井山先生少年かうたん。大久保ここえん門の小さい時のお話。これもおもしろいおもしろい。村野さんへ歸ってから、またげんたう

があった。今日は八鍬先生がやって下さった。始めは防空かうの話。次が少年戦車号。次は雷の話し。今日の日はよくわかっておもしろかった。終った時はぬむくてたまらなかつた。明日はお天気だったら行軍だ。まだ今日は雨がしとしと降ってゐる。今晚中に晴れるかしら。ぬる時にもそれが氣がかりだった。

十月五日、木曜日

目がさめた時は、もう朝で
雨もやんでゐた。が曇って
ゐたのでかさを持って行っ
た。郊外園につくころはも
う、食事當番集合のたい
こが「どーんどーん」となっ
てゐた。御飯をいただい
てゐる時から雨がまたし
としとと降りだした。行
軍中止。今日もお部屋の中
でお勉強。昨日とおなじや
うにしてお勉強した。

五時間めから二班三班は風
呂たき。一班四班はごふじやう
さうじだった。私は一班だ。
喜門先生がやり方をおしへて
下さった。これから毎週木曜
日には私たちがやるのださ
うだ。~~お~~おさうじが
すんでからお風呂に入った。
私と大島さんと二人で入って
ゐる時喜門先生がいらっしや
う。
もう洗ったのか。

とおっしゃったので、

はい。

といふと、又喜門先生が、

「あやしいぞ、まだよこれ

こゝろるんじゃないかな」もつ

とせっけんをたくさんつけなく

てはだめだ。

とおっしゃったので又始から

洗った。先生も手傳つて下

さったのでとてもきれいに

なった。とてもと氣持よ

紙のうらを使ふなぞしてす。文書も

くなくなつた。今日も一日中

雨が降つておぼろけさう

雨

十月六日

金曜日

今日も雨だ。いやな雨だな。

お部屋の中の生活も、すこし

あきて來た。が、~~あき~~あきまん

する時はこの時だ。このこと

ばがあたまにうかんで來た。

ああさうだ。がまんだがまん

だ。

三時間めのお裁縫の時間に

運しんのおけいこをした。

地理の時間は、石田先生

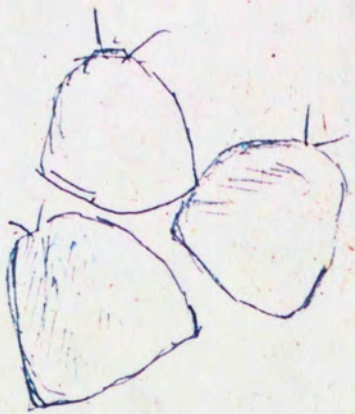
がお話をして下さった。命の

つりがねといふだいた。かは

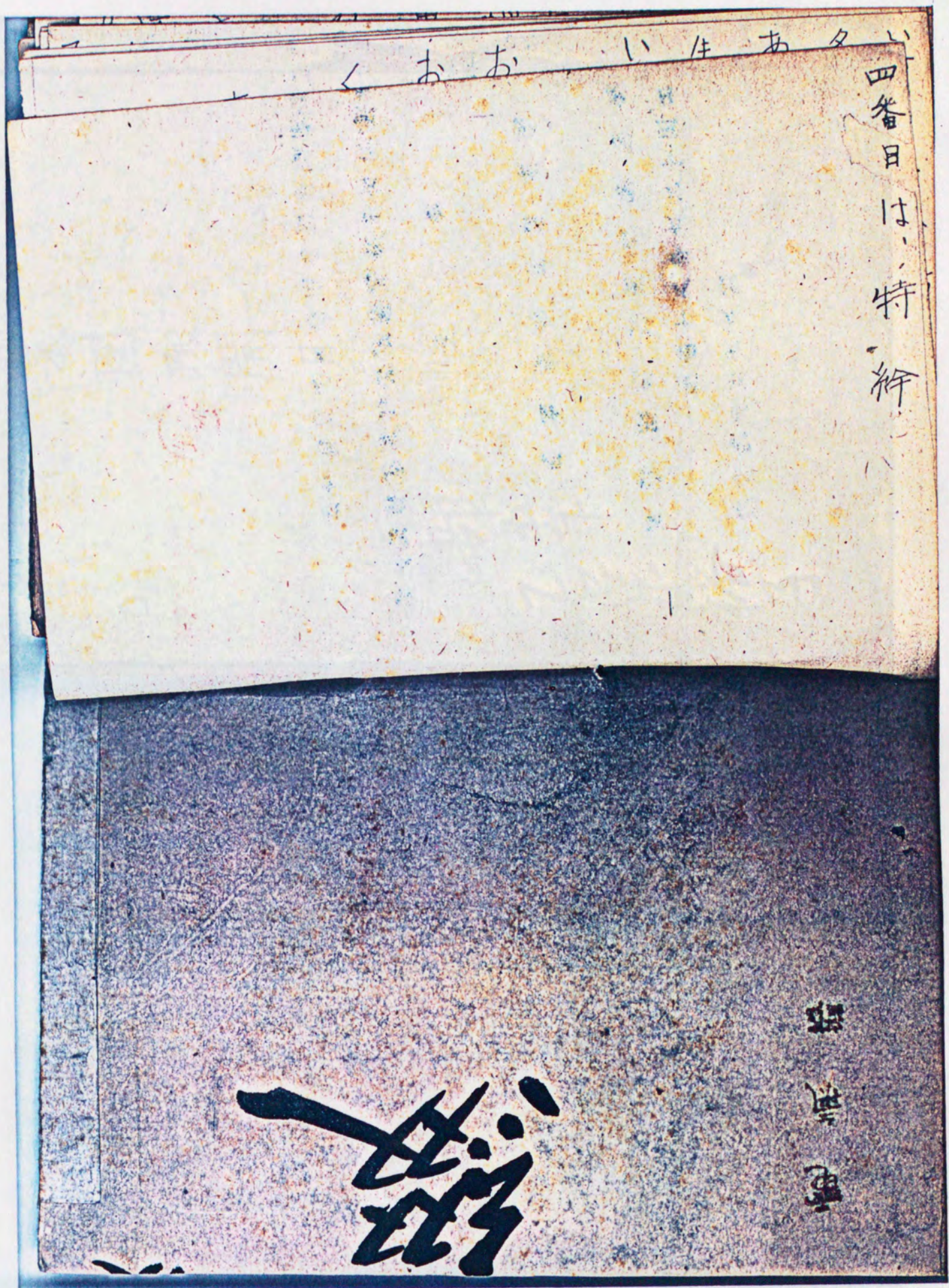
つりがね

いさうなお話だった。
夕食の前に、しんにん式が
あった。有が先生と高田先
生がおはいりになった。また
いっしょうけんめい勉強しやう。
村野さんへ歸ってから
お手玉をしてあそんだ。
お手玉もすこしはうま
くなって来た。

お手玉



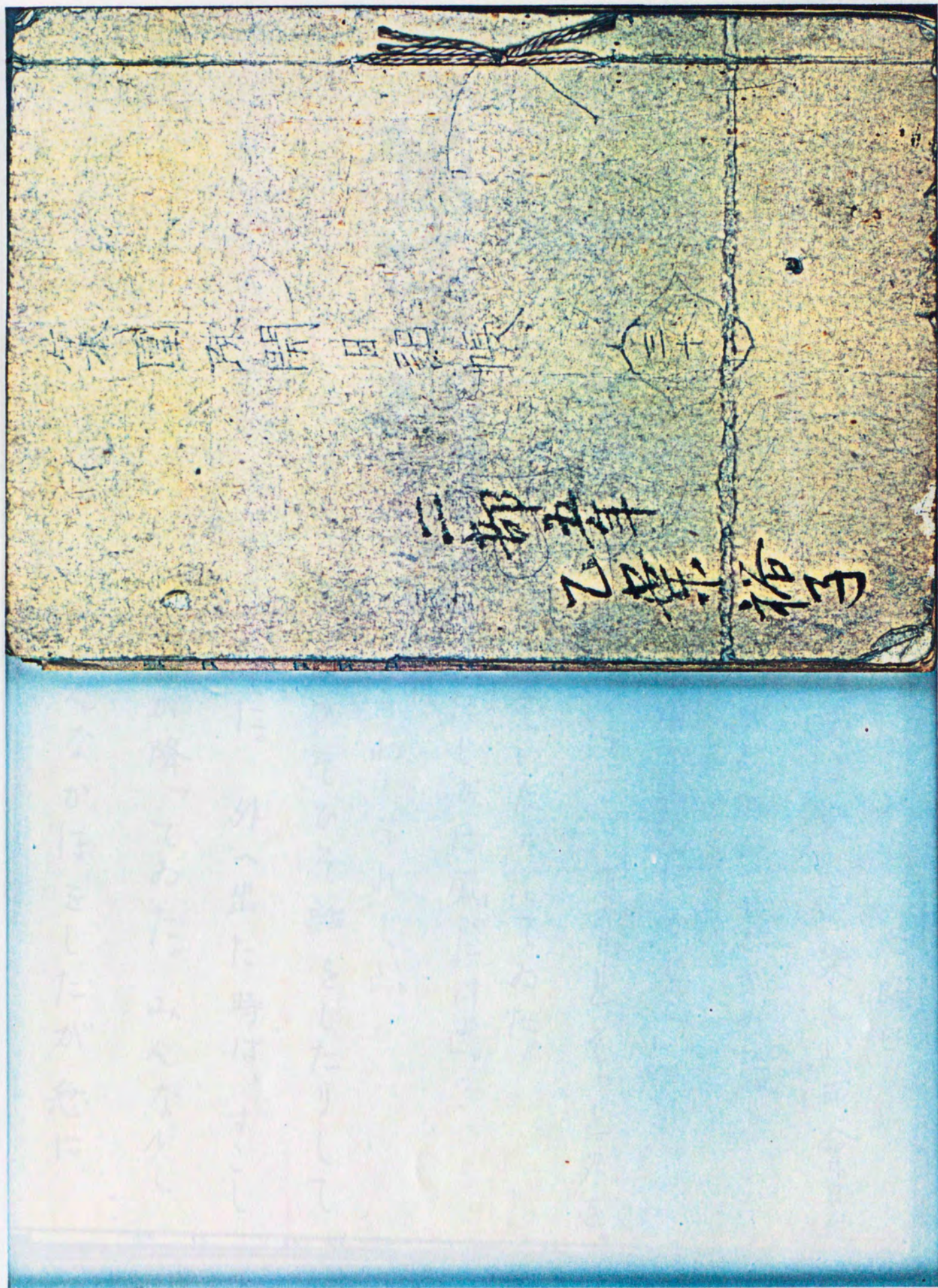
十月七日 土曜日
五時間目からお話と歌の
會があった。一番始め
は阿部先生のひめだつ
た。とてもお上手だ。
二番目は片山先生の大久
保ひこざえ門の小さい
ころのお話。とてもおも
しろかった。三番目は八
針先生の紙芝居「大空に描
く」といふのでとても感心な
紙芝居だった。



い 夕 太 い
く お お
四番日は、特
紵

綴

綴
通
綴



長田日開集

三十一

二部

乙集

福子

外へ出た時は、
降つてゐたに
なみほました
が、た